

スペイン語ガイドブック

■ 語順

●主語の位置

(1) 一般に「主語＋述語(動詞句)」の順になるのがふつうです。

- **El banco está** al final de esta calle. // 銀行はこの通りの突き当たりにあります。
- **La mecanógrafa se pasa** todo el día a la máquina. // タイピストは一日中タイプに向かっています。

(2) 次の動詞が使われるとき、ふつう主語は動詞の後になります。

(2a) gustar 動詞のタイプ

- **Me gusta la comida casera.** // 私は家庭料理が好きだ。
- **Me interesa mucho la fotografía, pero no encuentro trabajo como fotógrafo.**
// 私は写真にとっても興味があるのですがカメラマンの仕事が見つかりません。
- **Taro dice que estudia español porque le encanta la música latina.** // 太郎はラテン音楽が大好きなのでスペイン語を勉強していると言う。

*このタイプの動詞は「…が」(主語)、「…に」(間接目的語)、「…である」という構造ですが、日本語の「…は…が…だ」に対応します。このとき、日本語の「…は」にあたる部分がスペイン語の間接目的語に対応し、日本語の「…が」はスペイン語の主語に対応します。

(2b) haber, faltar, quedar, sobrar などの「存在・不在」を示す動詞では主語は動詞の後になります。

- **Hay un coche blanco a la puerta.** // 門の所に白い車が一台止まっている。
- **No hay mucha literatura sobre fauna submarina en esta biblioteca.** // この図書館には海底生物に関する文献はあまりない。
- **Todavía le falta alguna experiencia para poder hacer ese trabajo.** // 彼は

その仕事をするのにはまだかなり経験不足だ。

- Tienes que aceptar este trabajo. No queda otra alternativa. // 君はこの仕事を引き受けねばならない。他に方法はない。
- Tengo lo justo para comprarme el libro: ni me falta ni me sobra un euro. // 私は本を買うのにちょうどのお金しかない。1ユーロの過不足もない。

(2c) suceder, surgir などの「出現」, 「出来事」を示す動詞では主語は動詞の後になります。

- Se están sucediendo pequeños temblores estos días y toda la gente está intranquila. // 最近小さな地震が起きているので皆心配している。
- Si surge alguna circunstancia imprevista, te llamaré por teléfono. // もし不測の事態が起きたら君に電話しよう。

(2d) 再帰動詞の「受動態」用法では主語は動詞の後になります¹。

- Un fuerte temblor sacudió toda esta región pero no se registraron daños importantes. // 強い地震がこの地方を襲ったが大きな被害はなかった。
- Esta tarde se abre la primera sesión del Congreso. // 本日午後国会の第1回の会議が開かれる。

* ser + 過去分詞の受動態では、ふつう主語が前になります。

- Alfonso fue despedido por contravenir las órdenes de su jefe. // アルフォンソは上司の命令に背いて解雇された
- El programa de créditos de 5.000 (cinco mil) millones de dólares fue congelado. // 50億ドルの援助計画は凍結された

(2e) 間接目的語の代名詞がある再帰動詞の主語はふつう動詞の後になります。

- A mi abuela en verano, se le hinchan las piernas y no puede caminar. // 祖母は夏になると足が腫れて歩けません

¹ *しかし、次のように動詞の前になることもあります。主語の情報の性質によります(→(3))。

- La ceremonia se celebró con brillantez. // 式典は壮麗にとり行なわれた。

(3) 主語がもつ情報の性質

(3a) 主語が古い(既知の)情報や情報量が少ないときは前に出します。

- **Este libro abarca numerosos temas.** // この本は多くのテーマを扱っている。
- **García Márquez usa con frecuencia la hipérbole en sus novelas.** // ガルシア・マルケスはその小説でしばしば誇張表現を用いる。

*「この本」や「ガルシア・マルケス」は聞き手にとって、すでに既知のものとして見なされます。

(3b) 主語が新しい(未知の)情報や情報量が多いときは後に出します。

- **Murió olvidado y pobre el que un tiempo fue famosísimo poeta.** // かつては非常に有名な詩人だった男は人々に忘れ去られ困窮の中で死んだ。

*このように情報量が多いので主語が長くなることが多いです。しかし、次のように長い主語であっても古い(既知の)情報であれば文頭になります。

- **La ceremonia de inauguración de los Juegos Olímpicos fue televisada.** // オリンピック大会の開会式がテレビで放映された。

(4) 疑問文・感嘆文・関係節ではふつう主語が後になります。

(4a) 全体疑問文

- **¿Va a salir usted a estas horas?** // あなたはこんな時間に出かけるのですか？
- **¿Continúa su hijo guardando cama?** // 息子さんはまだ病気で寝ておられるのですか？

(4b) 部分疑問文

- **¿Dónde está la estación de metro más cercana?** // 一番近い地下鉄の駅はどこにありますか？
- **¿Qué anchura tiene este río?** // この川の幅はどれくらいありますか？
- **¿Qué aspecto tenía el hombre que le atacó?** // あなたを襲った男はどんな

様子でしたか？

(4c) 感嘆文

- ¡Qué bien ha interpretado el actor su papel! ¿Verdad? // 俳優はずいぶん上手に役を演じたね！
- ¡Qué bien huele esta flor! // この花はいい香りがするなあ！

(4d) 関係代名詞

- ¿Qué opina usted de esto que dice hoy el periódico? // 今日の新聞で言われているこのことについて思いますか？

* 関係副詞節では主語は前になることが多いです。

- Hay un puesto de policía donde los dos caminos se cruzan. // 二つの通りが交差するところに交番があります。
- Tengo que esconder la miel donde el niño no la pueda encontrar. // 私は蜂蜜を子供が見つけられないところに隠しておかなくてははいけない

(5) 文の他の要素が先行することによって主語が後になることが多いです。

(5a) 副詞(句)が先行するとき

- En la gran sala sólo se oía el tictac del reloj. // 大広間には時計の音だけが聞こえていた。
- Con el terremoto se vino abajo el edificio. // 地震でビルが崩壊した。

*しかし、副詞(句)が文から独立していると主語の位置に影響しない。

- Por falta de medios, Jorge ha decidido abandonar su proyecto. // ホルへは資金がないので計画を断念することに決めた。
- Con la enfermedad su marido se ha quedado hecho un esqueleto. // 彼女の夫は病気で骨と皮ばかりになった。
- En España sólo las mujeres usan abanico. // スペインでは扇を使うのは女性だけだ。

(5b) 前置詞を含む動詞句の要素が先行するとき

- Al paquete acompaña el certificado de garantía. // パッケージには保証書が入っている。
- De Madrid divergen ocho carreteras nacionales en forma radial. // マドリッドからは放射状に 8 つの国道が延びている。

(5c) 直接目的語・間接目的語が先行するとき→●目的語の位置

(6) 不定詞や節が主語のときはふつう動詞の後になります。

(6a) 不定詞

- No es fácil **contestar** a esta pregunta. // この質問に答えるのは容易ではない。
- A las ocho de la mañana es imposible **entrar** en el metro sin empujar ni ser empujado. // 朝の 8 時に押しあいへしあいせずに地下鉄に乗るのは不可能だ。
- No es exagerado **decir** que este cuadro es una obra maestra. // この絵は傑作と言っても過言ではない。

(6b) que 節

- Si no estudias, es normal **que no apruebes**. // お前は勉強しないなら合格しないのも当然だ。
- No es exacto **que el jefe haya reconocido su error**. // 上司が過ちを認めたと言うのは正確ではない。

●目的語の位置

(1) 基本的に主語＋動詞＋目的語の語順になります。

- **El nuevo laboratorio** tiene los más modernos adelantos. // 新しい研究所は最新の機器を備えている。
- **Santiago** me enseña español y **yo**, en compensación, le enseño kárate. // サンティアゴは私にスペイン語を教えてくれて、私はその代わり彼に空手を教えている。

(2) 直接目的語を「話題」にして文頭に出すとふつう主語は後になります。

(2a) 直接目的語が「人」の場合…a＋名詞, 名詞を受ける代名詞

- A Joaquín lo **absorbe el trabajo** y no atiende a la familia. // ホアキンは仕事に夢中で家族を顧みない。
- Aunque era muy rico, al pobre hombre lo **consumía la abulia**. // その男はかわいそうに大変金持ちなのに無気力にむしばまれていた。
- A los políticos les **importa mucho lo que piensa el hombre de la calle**. // 政治家は一般の人の意見にとっても関心がある。

(2b) 直接目的語が「人」以外の場合…名詞, 名詞を受ける代名詞

- ¡Ay, perdón, me he confundido ...! -- No importa; una equivocación la **tiene cualquiera**. // ああ, すみません, 間違えました! 一かまいませんよ, 誰だって間違いはします。
- El libro que usted pide no lo **tenemos** en existencia. // ご注文の書物は在庫にございません。

(2c) 「…」と～は言う, というときの主語(～)は後になる。

- “No quiero ir a la reunión”, **dijo Jorge**. // 「ぼくは会議に行きたくない」とホルへは言った。

●挿入

(1) 「意見」を示す creer, parecer

- ¿Quién **cree usted que** es el jugador más valioso de la Liga Española? // スペインリーグでもっとも優秀な選手は誰だと思いますか?
- Esto **me parece que** está buenísimo. // これすごくいいと思う。

(2) 「逆接」の接続詞句 no obstante, sin embargo

- Es un nuevo material de gran dureza y que, **sin embargo**, pesa muy poco. // その新素材は非常に硬いが, それにもかかわらずとても軽い。

(3) 副詞(句)

- A mí, **francamente**, no me pasa eso. // 正直に言って, そんなことは私にはありません。

●形容詞の位置→■形容詞

●副詞の位置→■副詞

スペイン語の質問

*** gustar, interesar 以外にどんな動詞がこれに相当しますか？単語を見て見分ける方法がありますか？**

他に、agradar (自動詞)「気に入る、喜ばしい」、encantar (他動詞)「魅了する」、fastidiar (他)「うんざりさせる」などの「感情」を示す動詞や、convenir、venir (どちらも自動詞で「都合がよい」という意味)があります。

- ¿Mañana te viene bien? // 明日の都合はどう？

単語の形から見分ける方法はありません。文の中で使われる様子を観察しましょう。

スペイン語の理由

*** gustar はなぜ倒置するのですか？**

中世スペイン語の gustar は意味は「...を味わう」という他動詞でした。それが、16～17世紀に gustar de... 「...を味わう」という形で前置詞をともなって自動詞としても使うようになり、さらに18世紀に「...」の部分が主語になって使われるようになり、「...が好きだ」という意味に変わりました。このように、gustar の主語が動詞の後ろにあるのは、本来目的語の位置にあったものが主語として働くようになったためだと思われます。また、Esta música me gusta mucho のように前に出すこともできます。そのときは Esta música を話題としてわざわざ取り上げています。

FIN